

## 施設事業所調査と介護労働者調査での同一の調査項目結果比較の概要

両調査で、①職員の雇用管理、②職員のメンタルケア、③管理職の育成の3つの同一調査項目の設問を設け、回答を比較した。

### 1 雇用管理の取組み状況

#### (1) 回答割合の高い項目

施設事業所では、「定期的な健康診断の実施」が92.7%で最も割合が高く、次いで「採用時における賃金・勤務時間についての説明」87.9%、「勤務時間帯を決める際、職員の要望を聞く機会の設定」及び「事故やトラブルへの対応体制」が共に79.3%の順であった。

一方、介護労働者では、「定期的な健康診断の実施」が80.8%で最も割合が高く、次いで「勤務時間帯を決める際、職員の要望を聞く機会の設定」は57.4%、「事故やトラブルへの対応体制」は43.8%の順であった。

#### (2) 雇用管理の取組みについて施設事業所と介護労働者の意識のギャップ

施設事業所が取組みを行っているとした割合を100として介護労働者が十分に行われていると答えた割合をみると、比較的ギャップの少ない項目は、「定期的な健康診断の実施」87.2%、「勤務時間帯を決める際、職員の要望を聞く機会の設定」72.4%であった。一方、「介護能力を適切に評価し、給与等に反映する仕組み」は38.7%、「介護事故や腰痛を予防するための教育や福祉器機の整備」は34.7%と事業所と労働者の意識のギャップが大きく、事業所は取り組んでいると考えていても、労働者からみると十分では無いことがわかった。

事業所・労働者の雇用管理の取組み別割合(複数回答)及び  
各項目別に施設事業所を100とした介護労働者との意識のギャップ

	定期的な健康診断の実施	採用時における賃金・勤務時間についての説明	勤務時間帯を決める際、職員の要望を聞く機会の設定	事故やトラブルへの対応体制	介護能力の向上に向けた研修	職場全体の課題を共有できる機会の設定	実務の中で、上司や先輩から指導を受ける機会の設定	施設の経営理念やケアの方針についての説明機会やケアの方針について	職員のモラルの向上に向けた研修	上司や先輩に仕事上の相談が出来る機会の設定	働き方等、キャリアについて上司と相談する機会の設定	介護保険制度や関係法令の改正情報への周知	介護の能力を適切に評価し給与等に反映する仕組み	介護事故や腰痛を予防するための教育や福祉器機の整備	介護の能力向上を意図した仕事の割り当て	介護の能力を適切に評価し教育・指導に反映する仕組み	(%)
A施設事業所調査 (n=2,052)	92.7	87.9	79.3	79.3	78.8	60.5	54.5	52.3	52.1	46.3	45.9	45.2	38.5	36.9	34.8	34.4	
B介護労働者調査 (n=2,729)	80.8	38.9	57.4	43.8	43.5	28.1	22.7	20.3	25.7	23.8	20.4	18.4	14.9	12.8	13.9	14.6	
事業所を100とした労働者とのギャップ (B*100/A)	87.2	44.3	72.4	55.2	55.2	46.4	41.7	38.8	49.3	51.4	44.4	40.7	38.7	34.7	39.9	42.4	

(注) 設問項目の注意事項

施設事業所(回答数 2,052)に対しては「貴施設(事業所)では、職員の雇用管理について、次のような取組みを行っていますか。あてはまる番号すべてに○を付けて下さい。」と設問し、介護労働者(回答数 2,729)に対しては、「あなたの勤務する施設(事業所)では、次のような取組みが十分に行われていますか。十分に行われていると思う取組みにあてはまる番号すべてに○を付けて下さい。」と設問した。後者は実施していても十分だと認識されていなければ○が付かないことに留意する必要がある。

## 2 職員のメンタルケアについて

### (1) 現在、職員に対して行っているメンタルケア

施設事業所、介護労働者ともに「定期的に上司との面談の機会を設けている」の割合が高くそれぞれ 45.9%、31.5%であった。次いで、「外部の相談機関・専門医と提携して職員に周知している」、「行政等が実施する健康確保相談等を活用している」がそれぞれ 10%前後であった。

また、メンタルケアを「いずれも行っていない」と回答した施設事業所は 26.2%、介護労働者では 28.1%にのぼっており、ともにメンタルケアに対する認識、対策等が遅れている状況がうかがえた。

### (2) 今後、職員に対して行いたい（行って欲しい）メンタルケア

施設事業所では、メンタルケアを行いたいものとして、「事業所内に相談や悩みの窓口・カウンセラーの配置等を設け職員に周知」が 35.4%で最も割合が高く、次いで、「定期的に上司との面談の機会を設け（てい）る」32.6%、「外部の相談機関・専門医と提携して、職員に周知」29.2%の順であった。

介護労働者では、行って欲しいと希望するものとして、「事業所内に相談や悩みの窓口・カウンセラーの配置等を設け職員に周知」が 47.2%で最も高い割合であった。次いで、「定期的に上司との面談の機会を設け（てい）る」39.1%、「外部の相談機関・専門医と提携して職員に周知」38.0%、「行政等が実施する健康確保相談等を活用（している）」26.3%の順であった。

介護労働者が行って欲しいとする割合は、全ての項目で施設事業所が行いたいとする割合より高い値であった。

現在、事業所が職員に対してメンタルケアを行っている支援内容(複数回答)

		(%)						
		設の定 期 的 に 上 司 と の 面 談 機 会 を 設 け て い る	知 携 関 外 し し ・ 部 て て 専 の い 職 門 相 員 医 談 に と 機 周 提	に 置 力 や 事 周 等 の 知 を ン み 所 設 セ の 内 け ラ 窓 に 職 ！ 口 相 員 配 ・ 談	る 等 る 行 を 健 政 活 康 等 用 確 が し 保 実 て 相 施 い 談 す	そ の 他	い い な ず い れ も 行 っ て	無 回 答
現在の支援	A施設事業所調査計 (n=2,052)	45.9	13.7	9.3	10.5	5.6	26.2	10.5
	B介護労働者調査計 (n=2,729)	31.5	13.8	6.8	10.3	1.4	28.1	26.6
	Cギャップ (B*100/A)	68.6	100.7	73.1	98.1	25.0	107.3	253.3
今後の支援	D施設事業所調査計 (n=2,052)	32.6	29.2	35.4	15.0	1.4	2.9	29.5
	E介護労働者調査計 (n=2,729)	39.1	38.0	47.2	26.3	2.1	3.6	26.5
	Fギャップ (E*100/D)	119.9	130.1	133.3	175.3	150.0	124.1	89.8

(注) 「Cギャップ」「Fギャップ」とは事業所を100とした労働者とのギャップの意。

#### (注) 設問項目について

施設事業所、介護労働者ともに「貴施設（事業所）では、職員のメンタルケアに対して現在どのような支援を行っていますか。また、どのようなことを希望しますか。現状と希望それぞれの、あてはまる番号すべてに○を付けて下さい。（複数回答）」と設問した。

### 3 管理職の育成について

#### (1) 管理職育成のために事業所が行っていること

施設事業所、介護労働者（一般介護職を除く労働者）ともに最も割合が高いのは「自治体や、業界団体が主催する教育・研修には積極的に参加させるようにしている」でそれぞれ 61.0%、39.1%であった。次いで「能力が認められた者は、配置や処遇に反映している」でそれぞれ 54.5%、26.3%の順であった。

なお、介護労働者の 25.5%、施設事業所調査の 8.6%が「いずれも行っていない」と回答しており、管理職の育成について施設事業所との認識のギャップがみられた。

#### (2) 管理職育成のために行っていることについて施設事業所と介護労働者の意識のギャップ

施設事業所割合を 100 とした介護労働者とのギャップをみると、「新任管理職に指導担当者をつけ実務の中で指導・アドバイスしている」が 95.5%と最も差が少なく、「管理職に対する体系的な研修を行っている」78.2%、「自治体や業界団体が主催する教育・研修には積極的に参加させるようにしている」64.1%、「地域の同業他社と協力、ノウハウを共有し育成に取り組む」63.2%の順となっていて、研修、教育に関わる項目でのギャップはおおむね少ない。

しかし、「能力が認められた者は配置や処遇に反映している」は 48.3%、「法人全体で連携して管理職候補の育成に取り組んでいる」は 45.0%と半数を下回っており、施設事業所は取り組んでいると考えていても、介護労働者から見ると十分では無いことがわかった。

管理職育成のために行っていること(複数回答)  
施設事業所を 100 とした介護労働者との意識のギャップ

	て実新任 務の管 理職に 指導・ アドバイ スにつ しけ	行管理 つ職に 対する 体系的 な研修 を	処遇に が認め られた 者は、 配置 や	の法人 全体で 連携し て管理 職候補	自治体 や業界 団体が 積極的に 参加さ せる教 育・研 修には 積極的 に	地域の 同業他 社と協 力、ノ ウハウ	その他	い ずれ も行 って いな い	(%) 無 回 答
A 施設事業所調査 (n=2,052)	17.7	21.1	54.5	22.0	61.0	7.6	1.0	8.6	3.0
B 介護労働者調査 (管理職等:n=1,186)	16.9	16.5	26.3	9.9	39.1	4.8	1.4	25.5	9.1
Cギャップ (B*100/A)	95.5	78.2	48.3	45.0	64.1	63.2	140.0	296.5	303.3

(注) 設問項目について

施設事業所では「貴施設（事業所）では、管理職の育成のためにどのようなことを行っていますか。（自社、他社の研修機関の利用は問いません。）」と設問した。

介護労働者では、「管理職」及び、「主任（サブ）リーダー等職場のまとめ役」と回答した人（1,186 人）に対して、「貴施設（事業所）では、管理職育成のためにどのようなことが行われていますか。（〇はいくつでも。）」と設問した。